

令和3年度 全特活「冬季一日研究会」(令3・12・26)

「小中一貫の学級活動」の意義と課題

—「望ましい集団活動」を生かす学校・教師—



小学校の学級会



中学校の学級会

やき先生の「小中一貫」への思い

①忘れられない教え子達の声

(S52新設校の卒業生が・・・)

②新幹線で出会った女子高生の話

H6調査官になって

③学級会の動画を観た大学生の怒り



2 学年学級会 議題「サミーさんにみんなのことをつたえよう」

今回の改訂における「小中一貫の課題」 —学習指導要領上の位置づけ—

今回の「改訂の課題」への対応

新中学校学習指導要領 第5章 特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕 3 内容の取扱い

(1) 2の(1)の指導に当たっては、**集団としての意見をまとめる話し合い活動など小学校からの積み重ねや経験を生かし、それらを発展させることが出来るよう工夫すること。**

(※ 2(1)学級や学校における生活づくりへの参画)

一大荒れの小学校と中学校が・・・

今、「小中一貫」のモデル校に！

栃木県内H小学校



進学先のK中学校

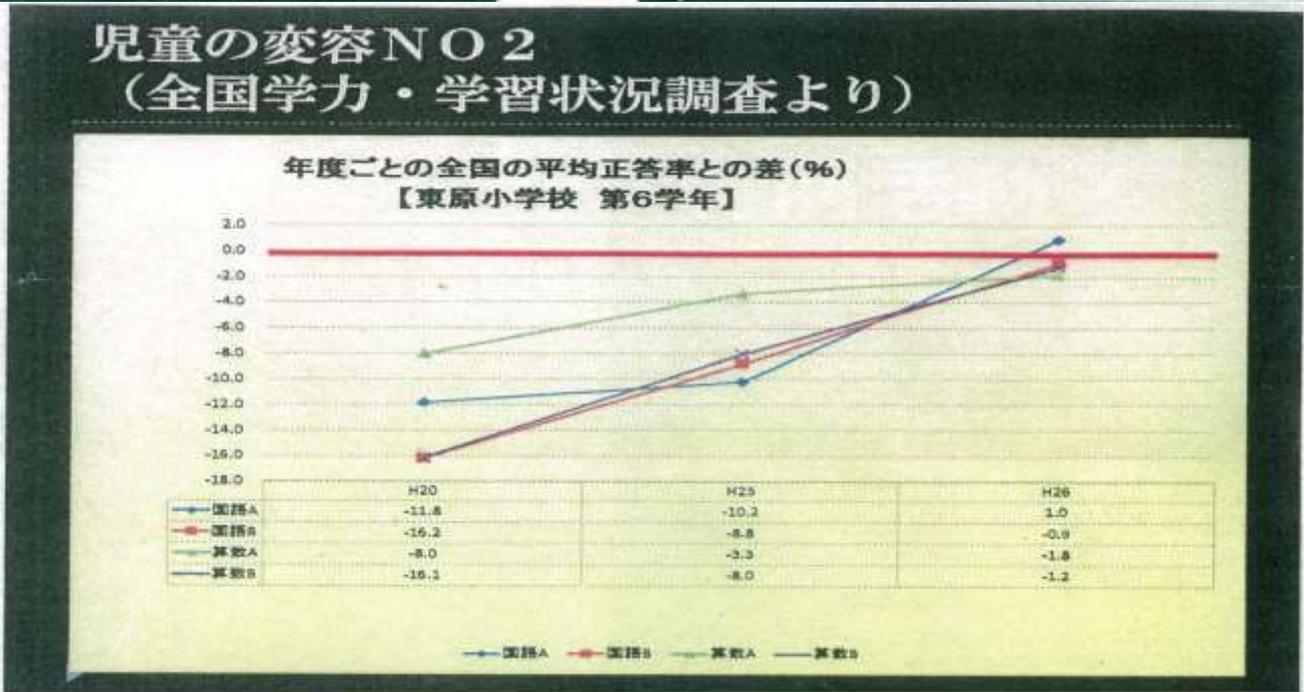
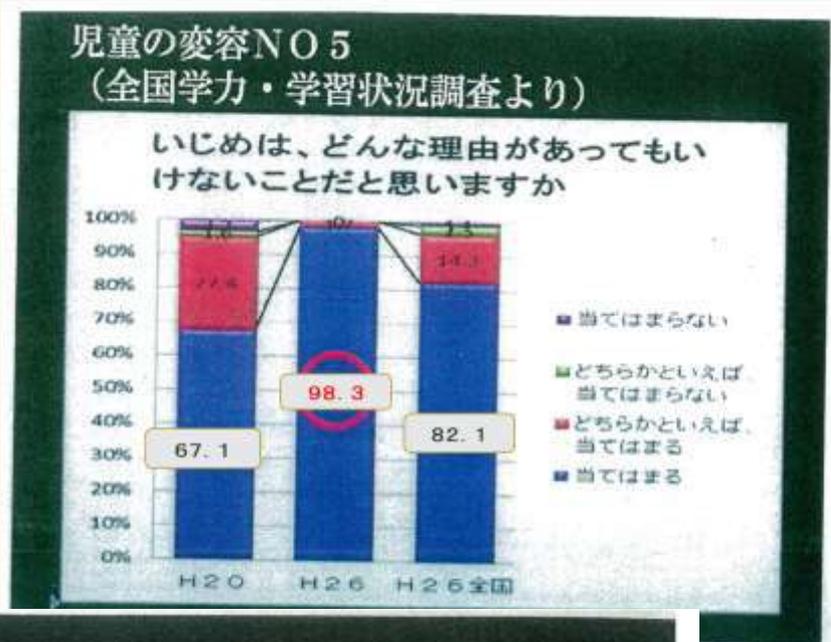
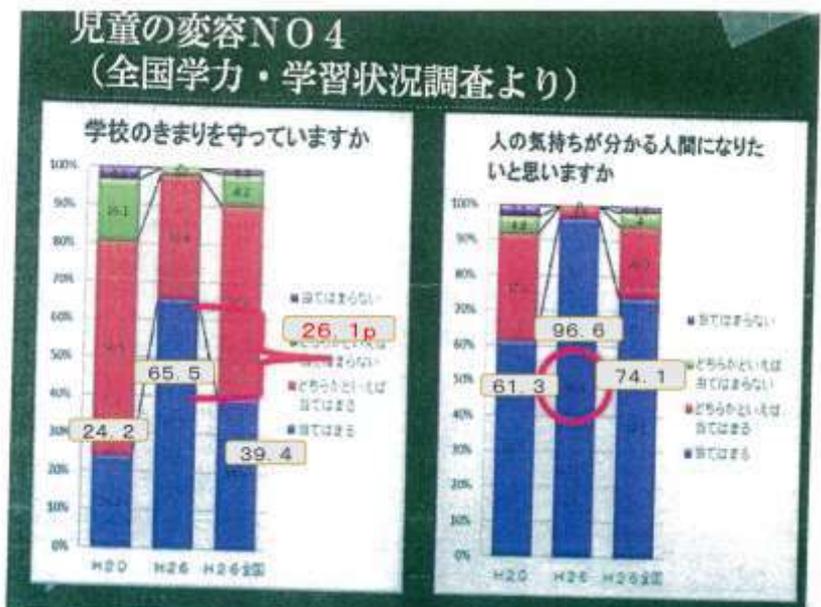


栃木県内I小学校

〇〇市立K中学校区の取組

—平成21年度から驚くほど変わっていく！—

栃木県H小学校の6年間の学級活動の実践研究」の成果



—市内外の先生方・教育委員会 地域の人々も驚いて！—

「何をして変わったの？」と

- その1 「年度初めの学級経営・学級活動スタート7つの実践課題」
- その2 「学活（1）学級会の望ましい指導」
- その3 「係活動の充実」

その1

年度初めの「学級経営・学級活動スタート 7つの実践課題」への確かな取組

千葉県大和田小学校

4月に取り組む 「3つの授業」



千葉県八千代市立大和田小学校 4年
題材「4年生になって」



千葉県八千代市立大和田小学校 6年
議題「係を決めよう」



千葉県八千代市立大和田小学校 2年
議題「2年生もがんばろうねかいのけいかくをたてよう」

「7つ」とは何か？

- 始業式・入学式からはじめる
先生方の重要な指導 —

一その1 「年度初めの学級経営・学級活動スタート7つの実践課題」

①「出会い」づくり

- ・教師と児童の親和的關係づくり
- ・児童同士の關係づくり

一始業式、入学式の日、の学級担任と児童の人間關係づくりの第一歩を。

〈学級担任の演出〉

出席のとり方から、しおりプレゼント、ギター演奏で歌を等々担任の個性的な工夫を。

(学習指導要領総則 第4の2(3)対応。)



【者に「どんな〇年生に」の「自己の努力目標の」は、児童一人一人の見通しなどの具体的実際には③が②の前に

○式場、教室等の雰囲気づくり ◎「保護者へのアンケート」の配布

平成26年4月7日

八千代市立大和田小学校
第3学年

保護者様



アンケートのお願い

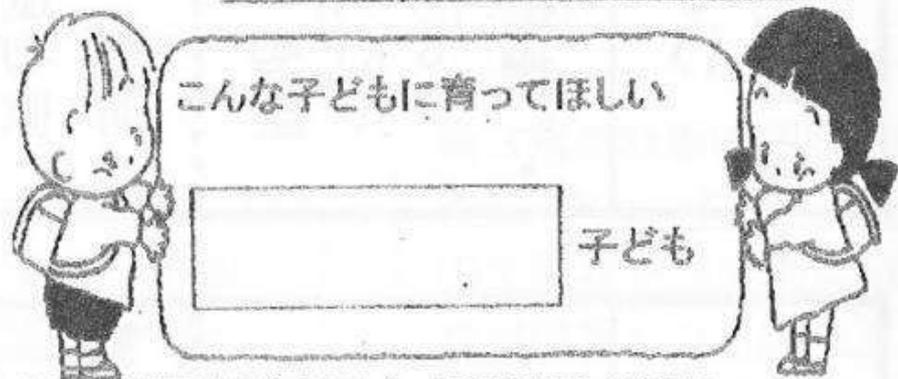
本校では、子どもたちが「自分で自分のめあてを決め自分でがんばる」姿を大切にしています。子どもの願い・親の願い・担任の願いを大切に考えます。

そこで、保護者の皆様の「こんな3年生に育ってほしい」という願いを教えてくださいたいと思います。3年生の子どもたちにわかる言葉でお願いします。願いはたくさんおありかと思いますが、一番大きな願いを短い言葉でご記入ください。

9日(水)までによりしくお願いいたします。

切り取り

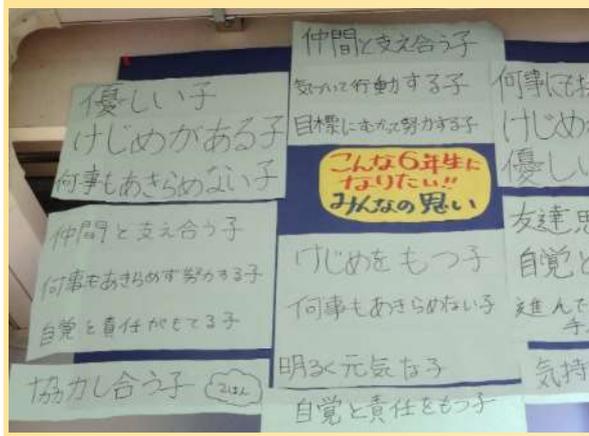
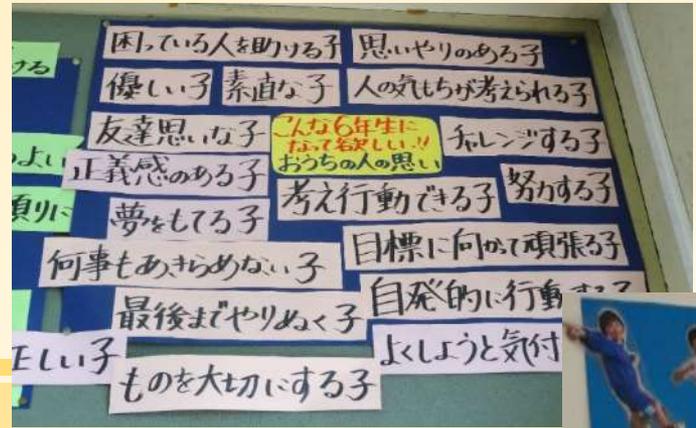
3年 組 保護者氏名



くわしい説明がありましたら、下に書いてください。

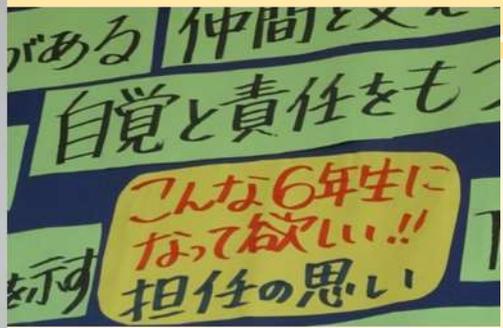
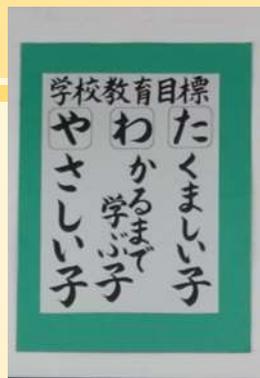
②「学級目標」づくり

・保護者、児童、教師（学校）の願いを統合し教師が設定。



ー「目指す子ども像」(学級教育目標)を知・徳・体(人格の構造)で示す。

〈学級経営方針〉
上記の学級目標(学級教育目標)は、黒板の上の壁面に掲示し、学級担任の教育方針を説明する。



④「理想・めあて」づくり

・「〇年生になって」(例)の授業づくり
 〈学級活動(2)イ(3)アを統合して)

一学習や生活等への不安の解消、新しい学校生活への期待感を高める指導をする。

〈3つの指導内容〉

- ①新しい学年の「学習・理想の学級生活オリエンテーション」
- ②学級活動・学級会オリエンテーションの実施。
- ③自己の努力目標を設定する。

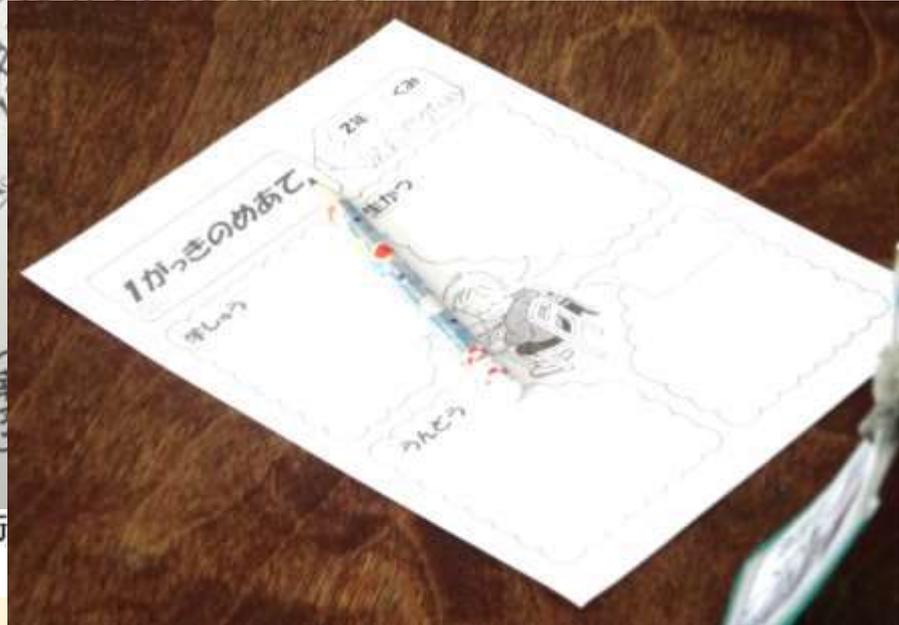
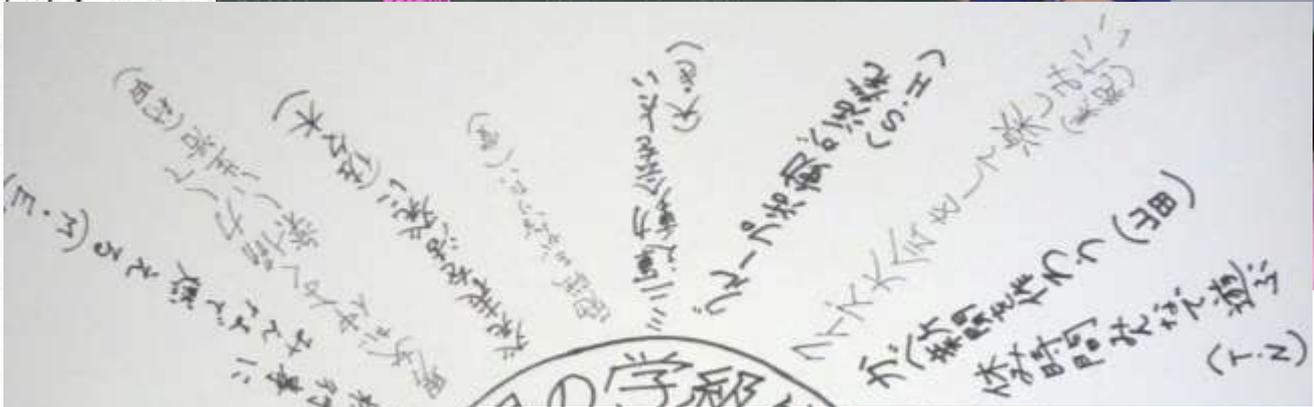
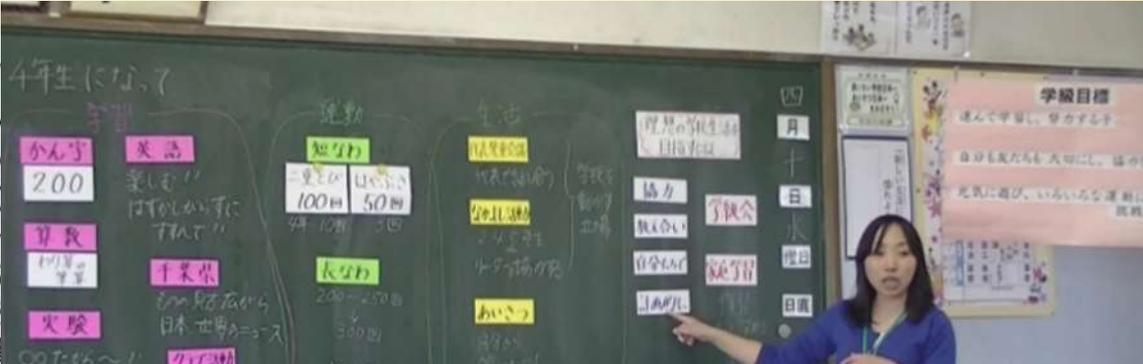
※

はじめの「

④「理想・めあて」づくり

・「〇年生(例)の授業づくり
 〈学級活動(2)イ(3)アを統合して)

生活班の



に「自
 は、見通
 界には③が②の前に、⑤や⑥が②の前に

→ ⑤ 「組織」づくり

- 計画委員会の組織
- 係の組織づくりの授業



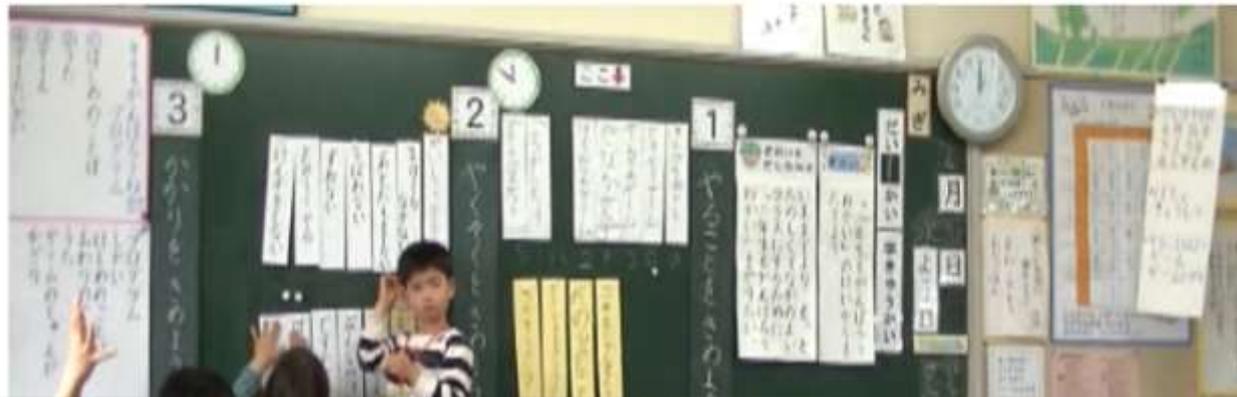
千葉県八千代市立大和田小学校 6年 北林 真理 教諭
議題 「係を決めよう」

一自治的活動の推進組織づくりの指導。

＜編成上の留意点＞

係の組織編成に当たっては、教科当番の組織や生活班で行う当番（清掃・給食・日直）の活動との違いを明確にして設定し、活動方針などを指導する。





⑥「生活（活動）」づくり

- ・「進級お祝いの会をしよう」「係をつくろう」などの学級会の活動を開始

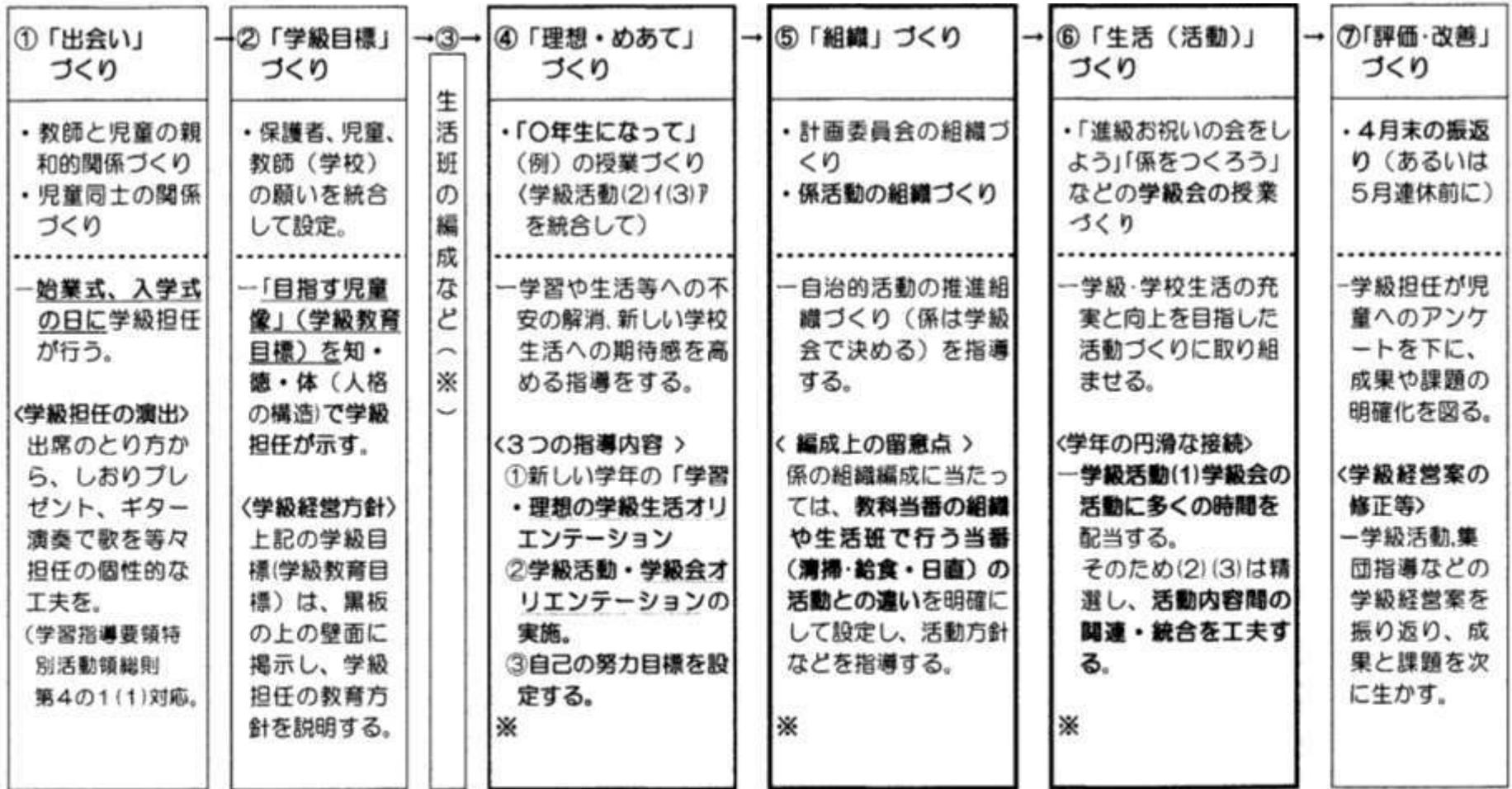
一学級・学校生活の充実と向上を目指した活動づくりに取り組ませる。

〈学年の円滑な接続〉

- 一学級活動(1)学級会の活動に多くの時間を配当する。
そのため(2)は精選し活動内容間の関連
 - ・統合を工夫する。

※

年度初めの「学級経営・学級活動スタート7つの実践課題」



《備考》

- 始業式、入学式の日¹に、保護者に「どんな〇年生になってほしいか」のアンケート用紙を配布し、翌日等に回収し、②に生かす。
- ④の〈3つの指導内容〉の③の「自己の努力目標の設定」では、①及び②の内容や学級教育目標も踏まえて設定できるようにする。
- 「理想の学級生活のイメージ」は、児童一人一人の思いや願いを、例えば寄せ書き風にするなどまとめて掲示する。(学級会オリエンテーションの第二弾(議題例や年間の見通しなどの具体的な取り組み)を④のすぐ後に実施する。
- ①から⑦は理念上の順序で、実際には③が②の前に、⑤や⑥が②の前に行うなど、ダイナミックに展開できるようにする。

年度初の「学級づくり7つの実践課題」

①「出会い」の関係づくり

- ア 教師と児童生徒との親和的關係づくりを工夫する。
- イ 始業式、入学式の日に行う。
- ウ 教師の自己紹介、人間的触れ合いの演技などの演出をする。
(保護者にアンケート「どんな〇年生になってほしいか」を配布)

②「学級目標」づくり

- ア 「目指す児童(生徒)像」を学級目標として提示する。
- イ 始業式、入学式から数日後に行う。
(保護者の願い、児童生徒の思い、学校の願いを教師が統合し、知・徳・体の人格形成目標を設定する)
- ウ 例えば、教室の前面の黒板の上などに掲示する。

③「学級の組織」づくりーその1

- ア 清掃などの当番(生活班)の組織や児童(生徒)会の委員会の組織などを編成し、所属を決定する(中学校の教科担当も当番)。
- イ ②の前後に行う。
- ウ 学校の基本方針の下に編成し、教室の壁面などに掲示する。

④「理想・めあて」づくり

- ア 児童生徒一人一人の抱く「理想の学級生活のイメージ」を学級全員が共有し、各自が新しい学年の努力目標を設定する。
- イ 学級活動の授業(例「〇年生になって」)として実施する。
(学習や人間関係などに関する不安を解消し、期待感を高め、新しい学年での個人目標(学習・生活・運動など)を設定する)
- ウ 「理想の学級生活」「個人目標」は教室の壁面などに掲示する。

⑤「学級の組織」づくりーその2

- ア 学級会を運営する計画委員会、係活動の組織を編成する。
- イ 学級活動(1)学級会の授業で児童生徒が組織をつくる。
- ウ 計画委員会の輪番表、係の組織表は教室の壁面(学級活動コーナー等)などに掲示する。

⑥「実践活動」づくり

- ア 学級会の活動や集団活動による実践活動をスタートする。
- イ ⑤の後に「進級お祝いの会の計画を立てよう」「転入生を迎える会をしよう」などの学級会やその後の児童生徒による自発的・自治的な実践活動に取り組めるようにする。
- ウ 背面黒板等に例えば「学級活動コーナー」なるものを設置し、活動計画や実践状況を掲示するなど工夫する。

⑦「評価・改善」づくり

- ア 学級経営案5段階完成法の第1段階計画の実際を振り返り、その後の指導の見通しを立てる。
- イ 4月末から5月の連休前の区切りとなるときに行う。
- ウ 教師から児童生徒に振り返りの結果を朝の会などで説明する。

(※①-⑦のア=「お祝い」、イ=「いつやるか」、ウ=「どうやるか」の説明)



「保護者へのアンケート」の配布



保護者の願い



子供たちの思い



※書き真タイプ、小さな疑問タイプなど工夫を



①



②



③

学級活動の2つの指導法

① 学級活動（1）学級会 （自治的能力の育成）の実践過程

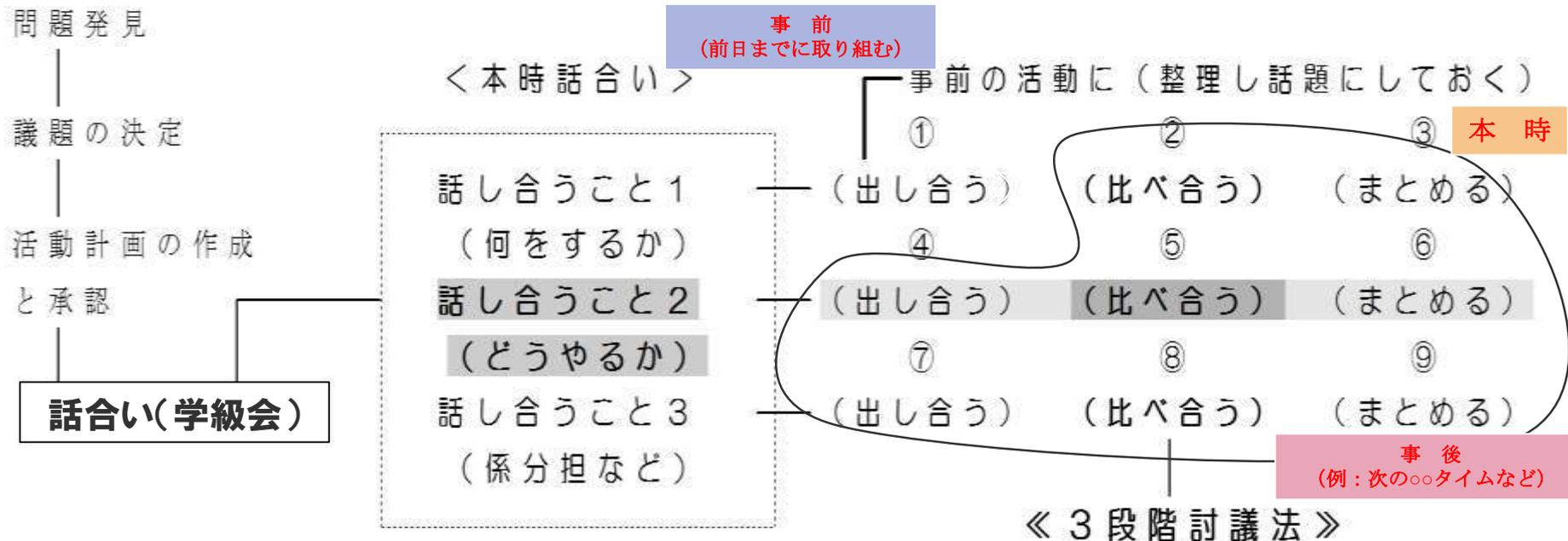
- ・ 話し合い（集団討議）の「**集団目標の集団決定・集団実践**」の指導
— 「3つの柱」と「3段階討議法」の指導—

② 学級活動（2）「適応」及び（3）「キャリア形成」 （自己指導能力の育成）の指導過程

- ・ 話し合い（集団思考）の「**個人目標の自己決定・個人実践**」の指導
— 「4段階展開法」の指導—

「3つの柱」 「3段階討議法」

〔A 学級活動—共通事項（1）〕—共同の問題、集団討議（学級会）、集団実践



— 《実際の活動計画4つのタイプ》

A : ①から⑨

B : ②から⑨

計画委員会の見通しを尊重して！

C : ②から⑦

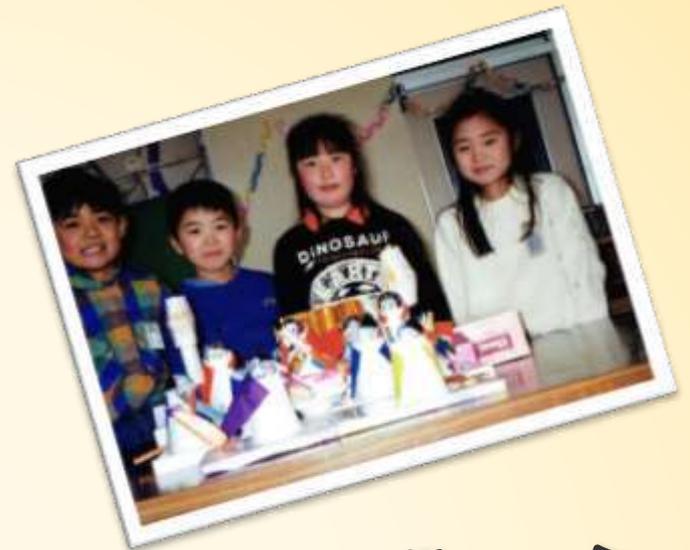
D : ④から⑨

- ・ 三つの柱立てを基本にしながら、「話し合い2」を中心とした話し合いを目指したい。
- ・ 「三段階討議法」を基本にしつつ、「話し合い1」の①は前もって出し合っておき、それを給食時などに話題にしておくなど、話し合いを深める工夫を考えたい。

学級会テーマ

自分もよく

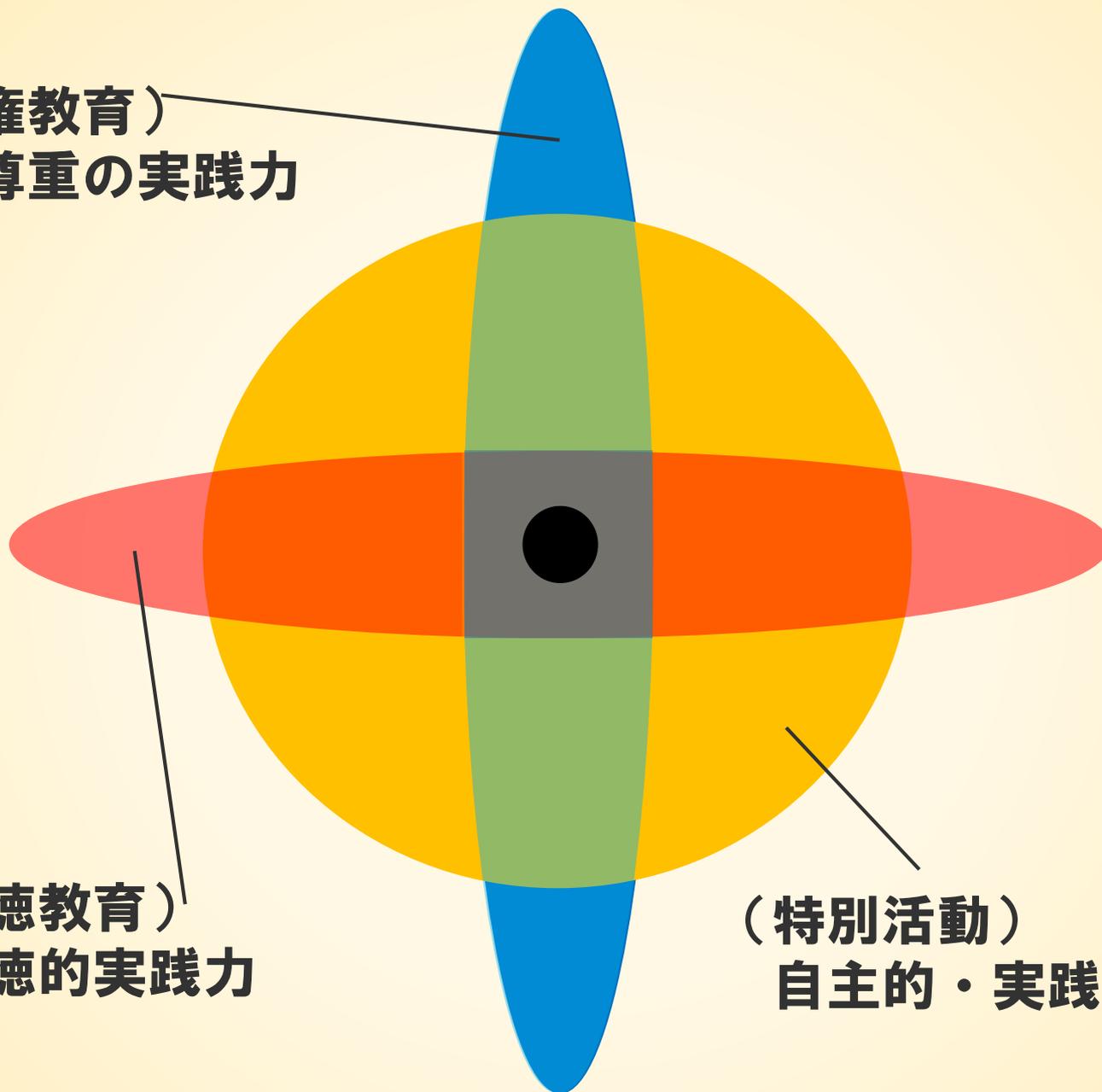
みんなもよいことを



- 分かり合う
- 折り合い・ゆずり合い
- 創意工夫
- みんなで分担



(人権教育)
人権尊重の実践力



(道徳教育)
道徳的実践力

(特別活動)
自主的・実践的な態度

学級会の議題例

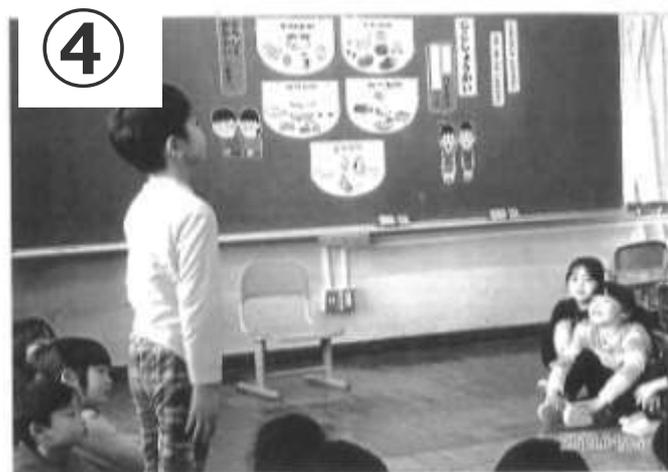
- ・学級の係を決めよう
- ・ **どうぞよろしくの会をしよう**
- ・ **〇年生もがんばろうね会をしよう**
- ・学級のボールの使い方を決めよう
- ・夏休み作品展の計画を立てよう
- ・ **室内オリンピックの計画を立てよう**
- ・学級新聞コンクールをしよう
- ・学級文庫を楽しくしよう
- ・廊下のクラス紹介コーナーの使い方を決めよう
- ・学級文化祭の計画を立てよう
- ・卒業文集の内容を決めよう
- ・学級カルタ（すごろく）をつくろう
- ・学校に紙芝居を作って残そう
- ・ **クラスの卒業を祝う会をしよう** など



実践事例の考察

「1年生の学級活動（1）学級会」の実践

八木郷小学校 1年 「どうぞよろしくねのかいをしよう」



31.4.15

「計画委員会（運営組織）の活動」と先生の位置

- 「輪番制」で育てる
- 小1から「4段階の教師の役割」

「計画委員会の指導」（4段階の「教師の役割」）



小1 4月～6月



小1 7月～2・3学期



小1 3学期末～2年生



小2後半から・・・



八木郷小学校 1年

「おじいちゃんやおばあちゃんとなかよくなるうねの会をしよう」

学校行事との関連の議題

第5回 学級会

議題、ふれあいの木林の方々と

七夕まつりをしよう

提案理由

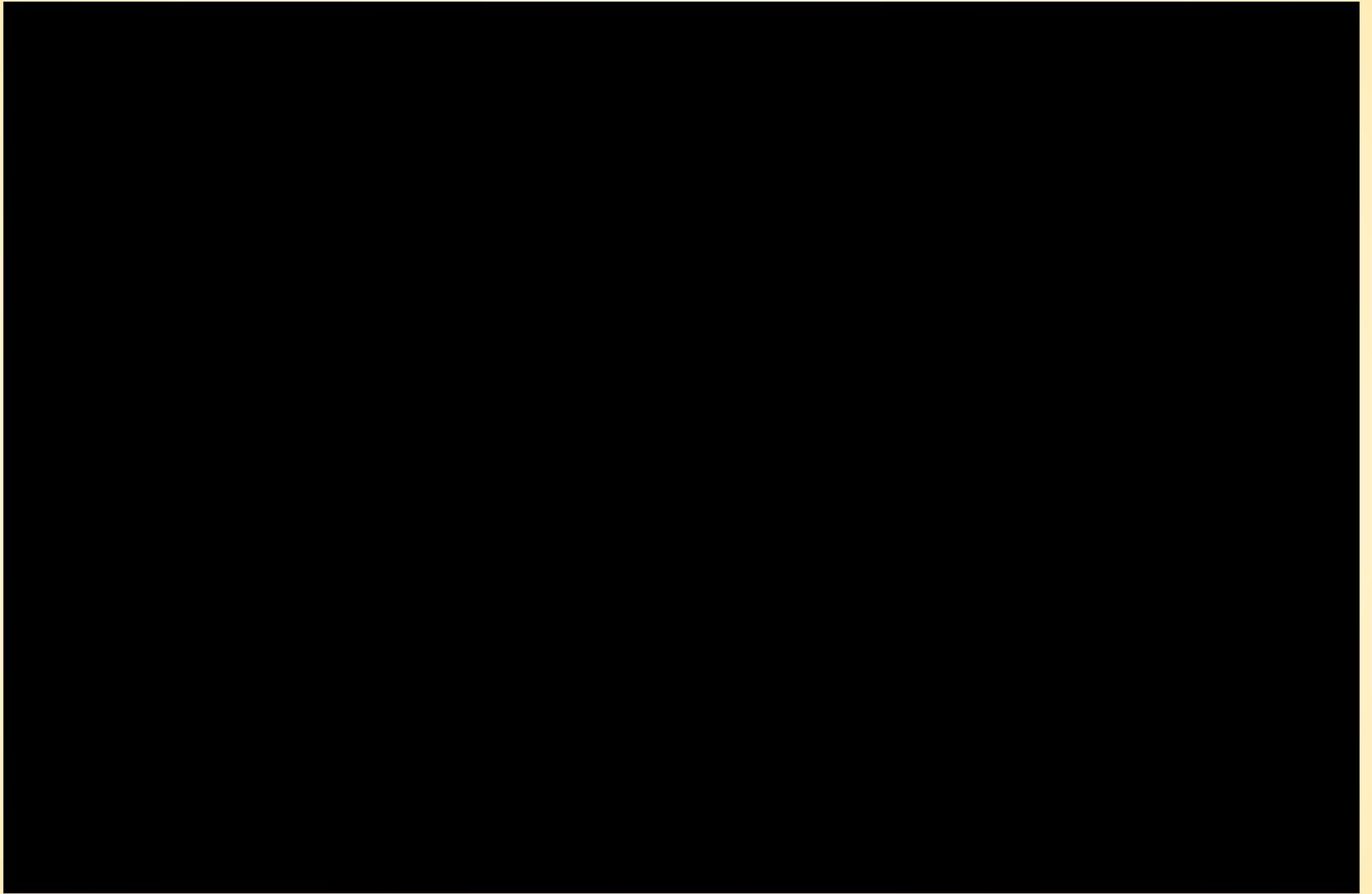
以前ホームステイで、にマリアさんとお別れ会を企画したとき、喜んでもらえたことが嬉しくおたことに訪問する際、施設の方々に喜んでもらいたいと思、たから、施設の方々に喜んでもら

めあて 成血り上げるための工夫を充実させよう

う、月5日ゆのち校時に実施。お金をかけない。施設の方々に楽しんでもらえよう

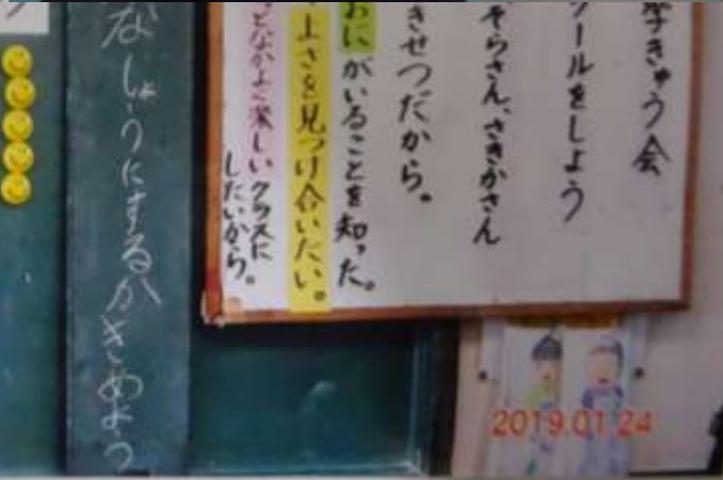
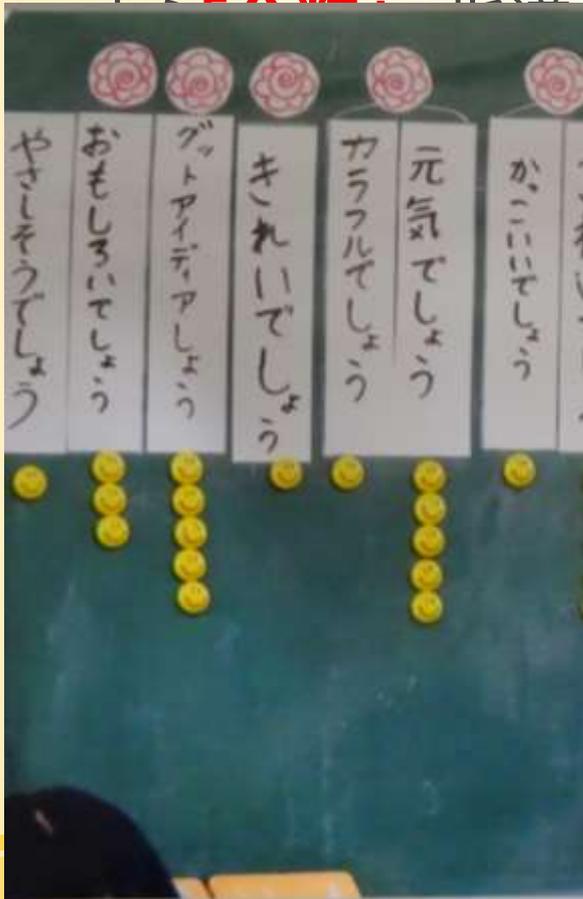
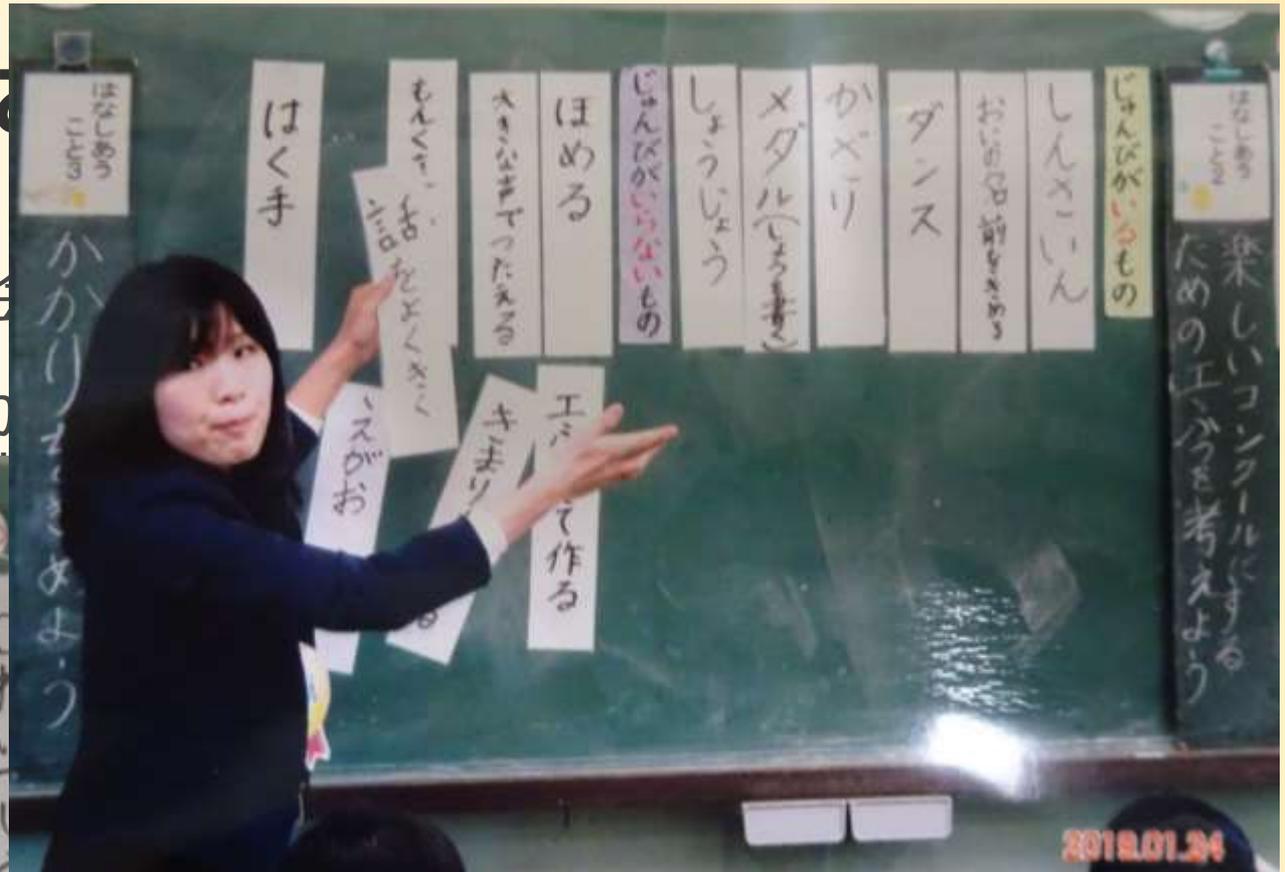


那須塩原市立箒根中学校
(中学校3年生)



「話し合いによる」

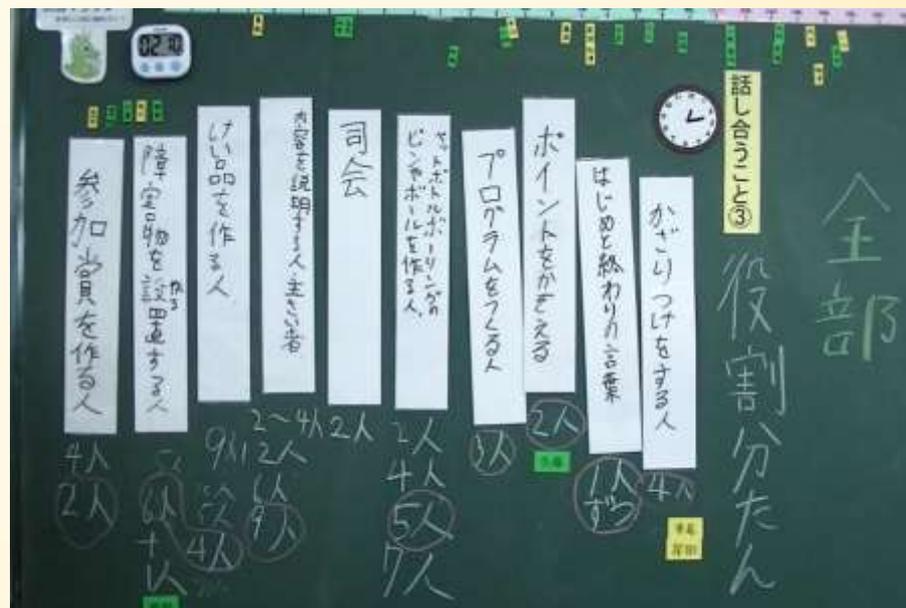
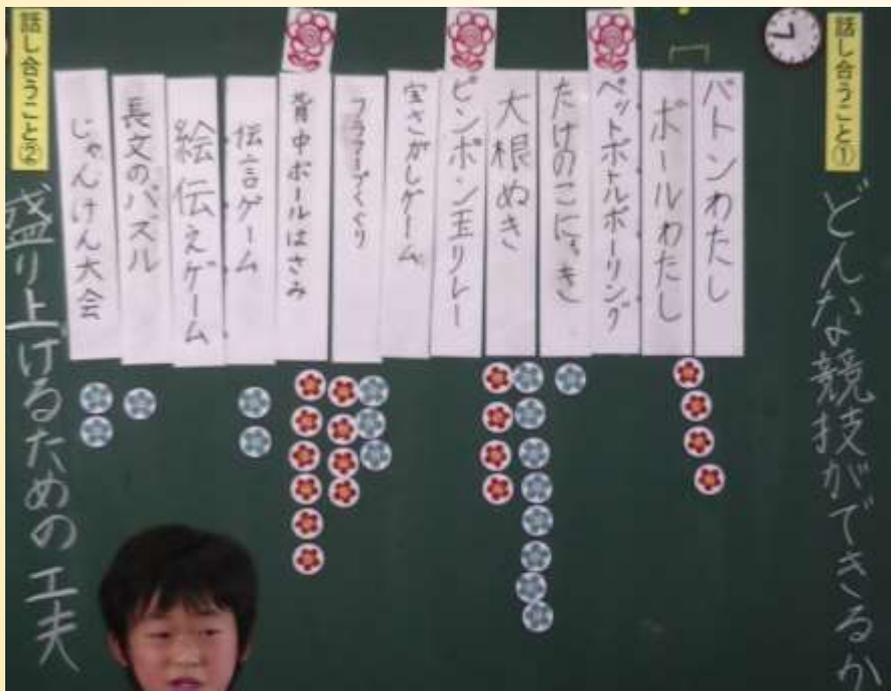
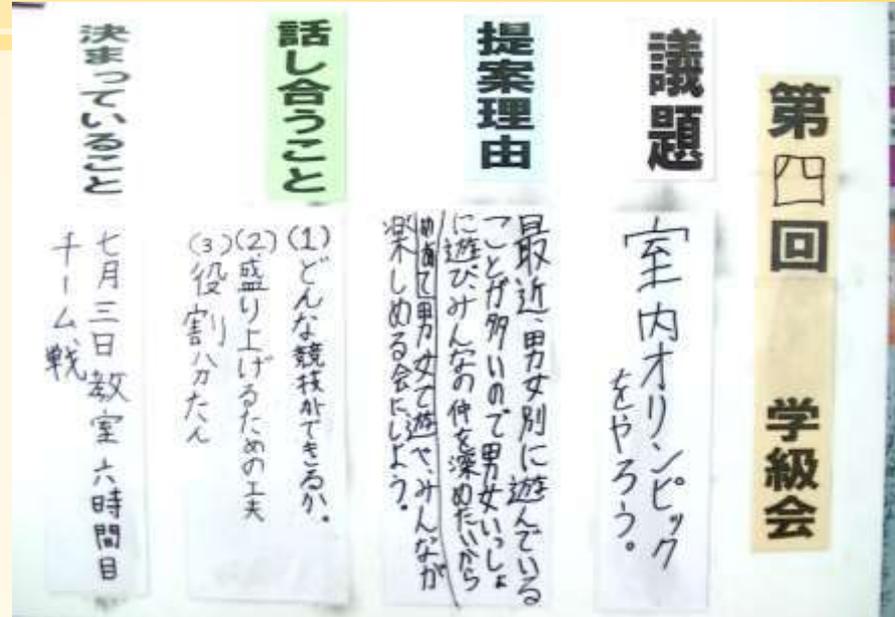
- 教師の助言は、司令官
- 柱1・2の話し合いが



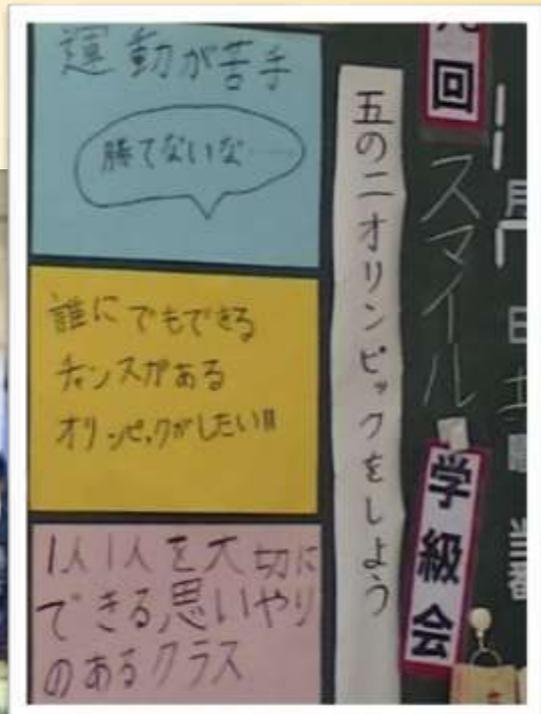
学級活動 1

「2年生もがんばろうねかい」を しよう

2年3組 辻学級



さいたま市立本太小学校 議題 「室内オリンピックをやらう」



プログラム
(何をするか)は
事前に決めておく



埼玉県鴻巣市立赤見台第一小学校 5年2組 大塚 圭教諭
「5の2オリンピックをしよう」



柱1 盛り上げる工夫を決めよう
柱2 係を決めよう

自分の国の国旗



全員にあげる賞

オリンピック開始



競技開始～はばとび～



実践の様子



表彰式

黒板記録の工夫 (川越市立武蔵野小学校4年)

反対意見のメモ (青)

思い出せる工夫

解決策 (黄)

デオクイズ

スタンプラリー

怒相心もまどめる

おみやげ

おみこし(ホ)

こと2



みさ

てば

クス

さ



全部うめたら量か

教
え
な
が
ら
作
る



つくろのが大変



ありがとう
が
持
て
る

かんとかが必要に
なる

みんなで作る

66
こ
作
る
の
は
大
変

時間がかかる

げんていにする

思い出せる工夫

クイズ



くじ
引
き



品

一



議題「学級立志の会をしよう」

① 開会：「計画委員の紹介（めあても述べて）」



② 「話し合い」（賛成意見を理由をつけて発言！）



③ 「反対意見や心配事」には「解決策」が出され！



④ 「決まったことの確認」を「記録係」から！



(中学校)



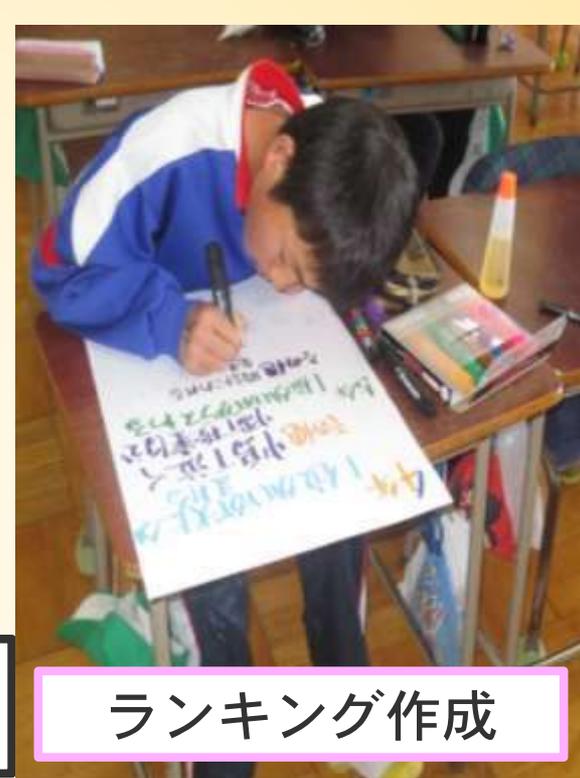
4月の学級会
議題「1 - 1 よろしくね会をしよう」



議 題 学年お楽しみ会を企画しよう



埼玉県小川町立八和田小学校 6年1組 船田真由美教諭
「6年1組卒業を祝う会をしよう」



ランキング作成

卒業証書の文章作り



卒業証書を書く様子



花道作成





鳥取県八頭町立大江小学校 4・5年 山本裕子・花木純一 教諭
議題 「学校の自まんをしよう」

話し合うこと

～1:18 柱① どんな内容にするか

決 仲よし

あいさつ
そうじ

決 会議が楽しい

進んで行動

決 いいこと見つけ

～1:30 柱② 読んでもらう工夫

タイトル

かんばん

かざりつけ

読んだ人のサイン

感想カード

～1:45 柱③ 役わり分担

仲よし(たいがりが)

会議が楽しい(ゆいとちとか)

こーいーと見つけ(せーいー・しゅーが・サニカ、フ)

ーその3 「係活動の充実」

「係活動の指導」(オリエンテーションの資料)

係活動の指導		当番の指導
教育課程 (学級活動ー集団活動)	領域的区分	日常の生活指導 (学級経営ー集団指導)
(協力)	指導① ねらい	(協力)
創意工夫 継続 児童・生徒(学級会)	指導② ねらい 指導③ 形態 指導④ 組織等	手順通り・責任 交替(輪番) 教師(生活指導部等)

「4月の係決め」の学級会の展開例

A タイプ・・・(1)どんな係をつくるか
(2)係の担当を決めよう

B タイプ・・・(1)どんな係をつくるか
(2)係ごとのおおよその人数を考えよう
(3)係の担当を決めよう

C タイプ・・・(1)どんな係をつくるか
(※)
(2)係の担当を決めよう
(3)係ごとの計画を立てよう

鹿沼市立北押原小 4年「係を決めよう」

①

第二回学級会

議題

提案理由 係を決めると学校生活がよくなり、
楽しくみんなで協力して生活できるところから、
決まっていること 三つ以上、係の数は六つ

②

話し合うこと① どの係にするか

かざり係
新聞係
ポスター係
思い出係
あゆみ係
図書係
生き物係
くふう係
クレーション係
百うこと② やくわり分たん

③

話し合うこと② やくわり分たん

かざり係
思い出係
あゆみ係
新聞係
ポスター係
図書係
生き物係
くふう係
クレーション係
ワイズ係

④

話し合うこと③

係長の役割

- 係をまとめる
- 活動の呼びかけ
- クラス全体へのお知らせ

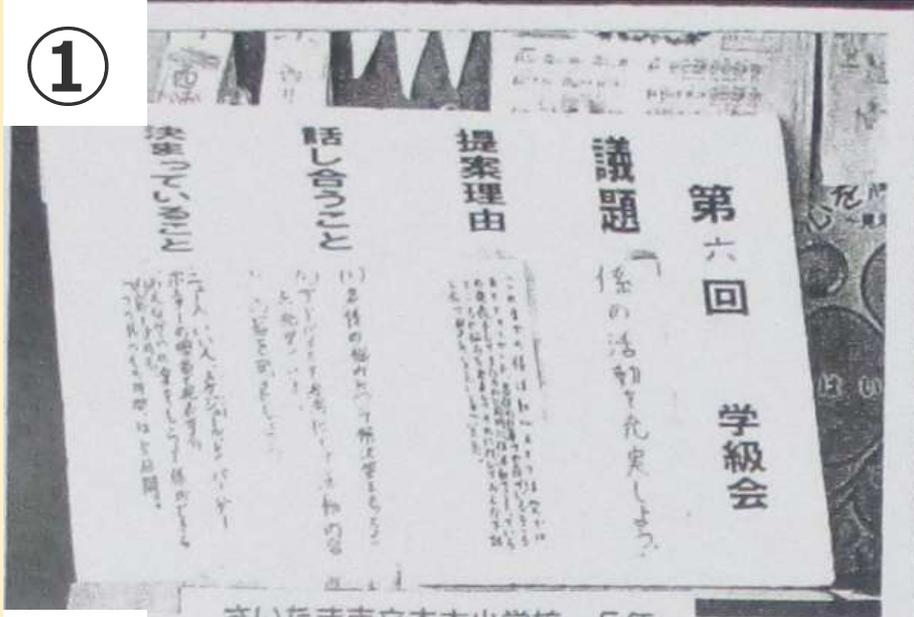
*係活動をよりおもしろく!

話し合うこと③ 係ごとの計画



「係の活動を充実しよう」 (5年)

①



さいたま市立本太小学校 5年
議題「係の活動を充実しよう」

②



③

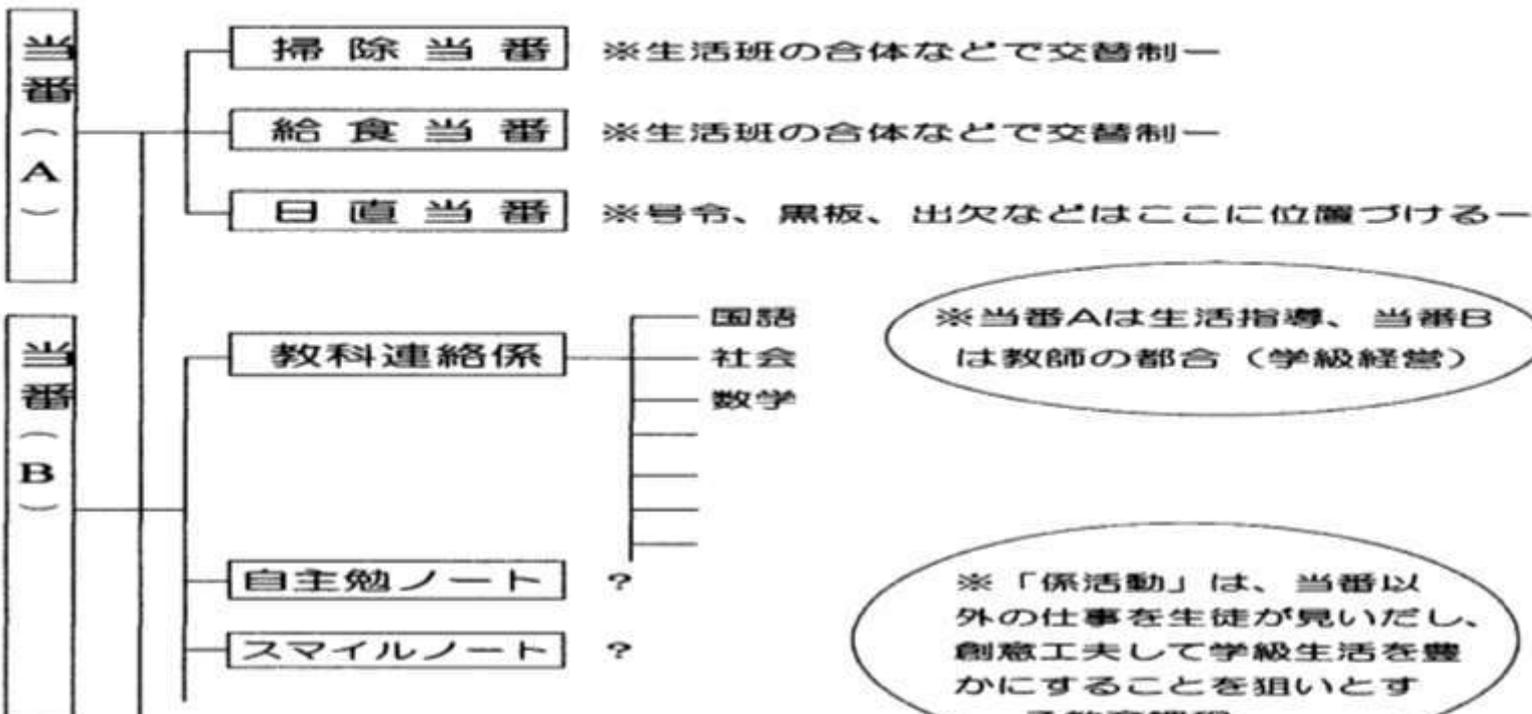


④



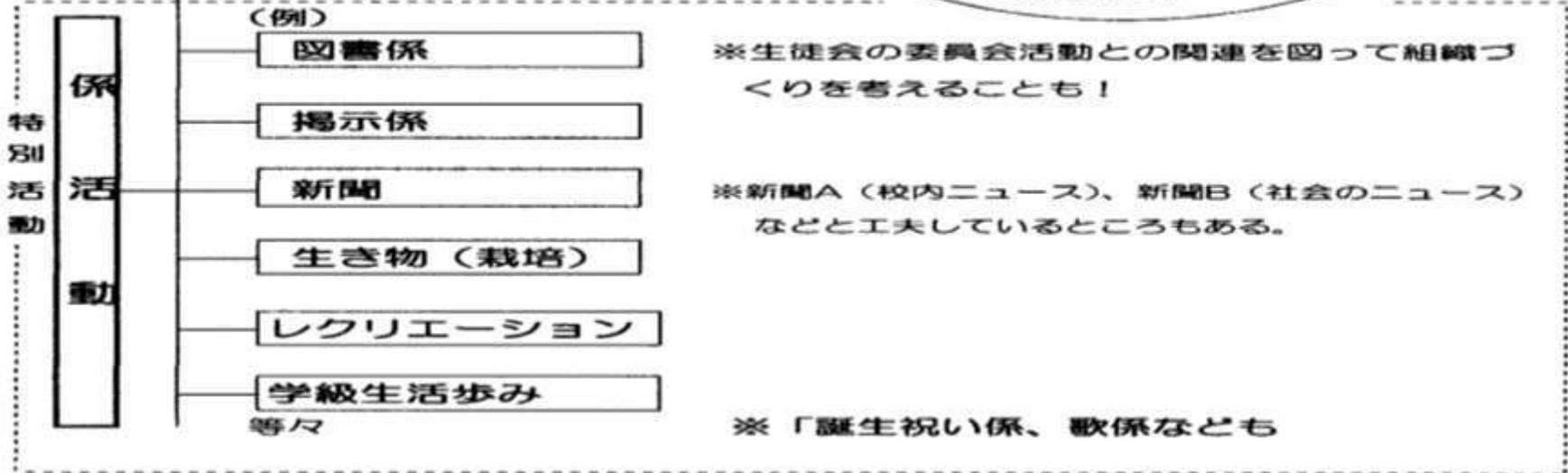
学級の係と当番の組織表

(中学校の学級の組織の例)



※当番Aは生活指導、当番Bは教師の都合(学級経営)

※「係活動」は、当番以外の仕事を生徒が見だし、創意工夫して学級生活を豊かにすることを狙いとする教育課程。



学級活動において何を「一貫」にするか

第1は、「指導観」を

(「年度初めの学級経営・学級活動スタート7つの実践課題」)

第2は、「年間指導計画」を

(学級活動年間指導計画)

第3は、「学級活動2つの指導法」を

((1)学級会－「3つの柱」と「3段階討議法」、(2)(3)－「4段階展開法」)

第4は、「運営組織」及び「活動形態」を

(輪番制の計画委員会、コの字型会議形式など)

第5は、「指導案」を

○年間計画の「予想される議題例」など

学級活動年間指導計画

【小学校 第1学年】

指導目標	<p>○学級における望ましい集団活動を通して、よりよい人間関係や豊かな生活づくりに取り組もうとする自主的、実践的な態度を育てよう 教師が模範を示しながら指導する。</p> <p>○学級活動(1)学級会の指導においては、集団(活動)目標を集団討議し、みんなの思いを生かしながら集団決定して集団実践するための基本型を定直し、協力して楽しく活動できるようにする。</p> <p>○学級活動(2)(3)の指導においては、自己の課題の解決や実践の仕方を集団思考し、自己の意思(目標)を自己決定して、進んで活動できるようにする。</p>					
学級活動の時間	(1)学級や学校における生活づくりへの参画【18時間】	(2)日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現 【(2)・(3)は合わせて16時間】	短時間で指導する題材	児童会活動・学校行事等の予定		
	予想される議題例	指導上の留意点	題材	指導上のねらい・留意点		
4	<p>○1学年の議題例</p> <p>・「どうぞよろしくの会」をしよう</p> <p>・係を決めよう</p> <p>・子どもの日のお祝いをしよう</p> <p>・運動会の色別隊に係を揃か決めよう</p>	<p>話し合い活動の指導</p> <p>・学級会はどんなことをするのか、オリエンテーションを通して理解させる。</p> <p>・議題は、最初は教師から提案し、様々なことができることを、活動経験を通して知るこ</p>	<p>○1年生になって(2)イ(3)ア</p> <p>○学校の約束(2)ア</p> <p>○安全な登下校(2)ウ</p>	<p>○1年生の学習や生活を知り、不安や悩みを解消し、だれでも仲よく協力して過ごすことができるようにする。</p> <p>○みんなが楽しく過ごすために約束があることを知り、それらを守って生活できるようにする。</p> <p>○登下校時の道路の歩き方や横断歩道の渡り方について、自分たちならどうするか考え、交通ルールを守って安全に気を付けよう</p>	<p>●返事の仕方</p> <p>●トイレの使い方</p> <p>●正しい姿勢</p> <p>●給食の準備の仕方</p> <p>●下校紙での下校の仕方</p> <p>●本の借り方返し方</p>	<p>・入学式</p> <p>・1年生を迎える会</p> <p>・全校遠足</p> <p>・運動会練習(地震)</p> <p>・引き返し訓練</p> <p>・交通安全教室</p>
5						

学級活動年間指導計画

【中学校 第1学年】

4 おもな活動内容

6	学期	学級活動	学校行事等	生徒会活動等	学級の諸活動等
	時月	<p>(1)学級や学校における生活づくりへの参画 (予想される議題例)</p> <p>(2)日常の生活や学級への適応と自己の成長及び健康安全 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現</p>			
前期	1	<p>ー「3つの柱」と「3段階討議法」ー</p>	<p>・始業式</p> <p>・入学式</p> <p>・修学旅行②</p> <p>・東京遠足②</p> <p>・宿泊学習①</p> <p>・授業参観</p> <p>・部活動結成</p>	<p>・校外生徒会</p> <p>・専門委員会</p> <p>・中央委員会</p> <p>・生徒集会</p>	<p>・前期の目標</p> <p>・学級のあゆみ</p> <p>・学級活動コーナー</p> <p>・議題ポスト</p> <p>・清掃、給食当番表</p> <p>・部活動について</p> <p>・連絡黒板の活用</p>
	2	<p>◎入学祝いの会の計画を立てよう</p>	<p>・審判中1年生のスタート!</p> <p>(2)ア・(3)ア</p> <p><※統合的題材></p>		
	3	<p>◎学級の係を決めよう</p>	<p>・通学路と安全な登下校</p> <p>(2)エ</p>		
	4	<p>・学級レクの計画を立てよう</p>			

〔「小中一貫の学級活動」の実践研究に取り組み始めてからの議題〕
〔「市田小学校の近年の学級会の議題」の中から〕

＜年度初め（4～5月）の議題＞

- ・学級の係を決めよう
- ・どうぞよろしくの会をしよう
- ・前期がんばろうね会をしよう
- ・市田小あいさついっぱいプロジェクト
- ・6年生へのおれいのきもちつたえよう

＜学級生活の議題＞

- ・夏まつりをしよう
- ・後期もがんばろう会をしよう
- ・七夕まつりをしよう
- ・夏休みにみんなでパワーアップしよう
- ね会をしよう
- ・Nさんをむかえる会をしよう
- ・室内オリンピックをしよう
- ・卒業アルバムクラスページをつくらう
- ・こころのおにをやっつけよう会をしよう
- ・手作りカルタ大会をしよう
- ・友達すごろくをしよう
- ・2020年思い出新聞発表会をしよう
- 一等々

〔「小中一貫の学級活動」の中学校区の合同研究に取り組み始めてからの議題〕
〔一大里中、黒磯北中、箒根中の学級会の実践〕の中から〕

＜年度初め（4～5月）の議題＞

- ・進級おめでとうの会をしよう
- ・学級の係を決めよう
- ・1-Bどうぞよろしくの会をしよう
- ・学級お楽しみ会をしよう

＜学級生活の議題＞

- ・教育実習生へ感謝の気持ちを伝えよう
- ・学年レク大会をしよう
- ・友達カルタ大会をしよう
- ・小学生との交流会をしよう
- ・1-Bでオリンピックをしよう
- ・学級レクを計画しよう
- ・学級新聞発表会をしよう
- ・卒業文集の内容を決めよう
- ・お別れ会をしよう

＜生徒会・学校行事関連の議題＞

- ・新入生の歓迎会の出し物を決めよう
- ・学年レクの出し物を決めよう
- ・バスレクを考えよう
- ・体育祭種目を決めよう
- ・キャンドルファイヤーを盛り上げよう
- ・福祉施設の方との交流計画を立てよう
- ・合唱祭に向けたクラスの取組を考えよう
- ・立志式で成長した姿を見せよう
- ・文化祭の自由発表にクラスとして参加しよう
- 等々

指導内容の「重点化」及び「関連」「統合」等の工夫

「第6章 特別活動」 「●第3 指導計画の作成と内容の取扱い」 2

「(2) (略) 各学年において取り上げる指導内容の重点化を図るととともに、必要に応じて内容間の関連や統合を図ったり、他の内容を加えたりすることができること。—— ※中学校においても同様の記述

〈例①〉 「〇年生になって」の指導

— 「学級活動(3)ア・(2)イ」の統合的題材

〈例②〉 中学校学級活動(2) 題材「様々な性について考えよう」の指導

ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成
ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

〈例③〉 「修学旅行」の指導

— 「学校行事(4)「遠足・集団宿泊的行事」と「勤労生産・奉仕的行事」の統合的指導

(※) 「第1章 総則」 「●第2 教育課程の編成3の(2)」

「エ 総合的な学習の時間における学習活動により、特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施と同様の成果が期待できる場合においては、総合的な学習の時間における学習活動をもって相当する特別活動の学校行事に掲げる各行事の実施に替えることができる。」



① 磯橋北中学校区（小2、中1）の取組の発表



② 小中各校（悉皆）2～3名参加して



③ 中学校区ごとグループでの協議（マークシートに記入後）



④ Gごとの発表を踏まえて「一貫」の必要性、意義、今後に向けて」の講義

<那須塩原市教委主催「夏季1日研修」>



① 今次、改訂の課題等の講義
三郷市立南中学校区（小4、中1）全員研修会



② 演習（係活動の指導—○×△に分類を）
—3教室に分かれて—

③ 「望ましい係活動」の指導

係活動は、昭和33年学級指導要領において特別教育活動が強化されたことにより、それまでの指導（指導1）から協力の活動に変わって、学級の全員がいずれかの係の仕事を担当する教育課程（学級活動）の内幕として位置付けられるようになった教育活動である。

望ましい係の指導については、下記のよう指導要領の深い協議と共有に当たることが望ましいと考えられる。

係の指導		当番の指導
教育課程 (学級活動—無償活動)	領域的区分	日常の生活指導 (当番の仕事—無償指導)
(協力)	指導1から4	(協力)
創意工夫	指導2から4	手順通り責任
継続	指導3形態	交替(輪番)
児童・生徒(学級会)	指導4組織等	教師(生活指導部等)



④ 各教室を回って③を基本に指導

<三郷市立南中学校小中合同研修会>

「小中一貫の学級活動」の先進的研究推進に学ぶ

—— 那須塩原市の先進校・教育委員会の取組拡大の経緯 ——

- ① 東原小学校の研究が始まる
(平成21年から一年々生徒指導の正常化、学力面が向上)
(年々生徒指導が正常化し、学力面も向上)
- ② 黒磯北中学校が東原小学校の研究に参加し、小中合同研究が始まる
(黒磯北中学校の授業研究をはじめ、平成24年頃から市内の小・中学校に広がる)
- ③ 那須塩原市教育委員会主催の研修会・授業研究会が始まる
(東原小等の公開授業研究会から、市教委主催の「黒磯北中学校区(小2, 中1)の小中一貫の合同研究」が始まる。)
- ④ 同市教育委員会主催の県外先進校視察研修事業が始まる
(平成28年から先進校「千葉県八千代市立大和田小の自主公開研」に小中の希望者が参加(市教委がバスをチャーター)
(東原小の「学習状況調査・学力調査」の成果が文部科学省の協力者会議等の資料に)
- ⑤ 同市教育委員会主催「夏季一日研修会」(小中悉皆参加研修)の実施
(令和元年 黒磯北中学校区の研究発表と中学校区ごとの研究協議等)
(「小中一貫の学級活動」の取組の成果を全県担当指導主事研協で紹介(講演))
- ⑥ 中学校区ごとの実践研究が市内外に広がる
(那須塩原市立帯根中学校区等の研究推進、鹿沼市立北押原中学校区の研究推進、埼玉県熊谷市立大里中学校区等の取り組みなどへの広がりが)

「校内における研修・研究」のいろいろ

- ① 学校の重点課題研究に設定して
- ② 実技研修としての学期ごとの授業研究
- ③ 校内の特活部による授業研究会
- ④ 学年内授業研究会
- ⑤ 学年会の議題として
- ⑥ 自主勉強会 など

3 「小中一貫の学級活動」への取組の成果等

（研究校における成果等）

- 親和的、協調的な人間関係が生まれ、学級（学校）に明るい雰囲気醸成される。
（男女差別なく、互いの気持ちを分かり合い、誰とも協力し合う）
- 話し合っって創意工夫し合い、創造的に問題を解決しようとする態度が育つ。
（普段の生活や係などの活動、教科学習などでも学級会の経験が生かされる）
- 不登校や欠席が減少する。
（学級会や係の活動を楽しみにし、欠席者（不登校も）が大幅に減少する）
- 自己有用感や自己肯定感が高まる。
（学級会の実践活動や係活動で誰もが自ら役割を分担する経験が役割貢献意識を高める）
- 自発的な態度や学習意欲も向上する。
（進んで思いや願いを発表したり、役割を等を引き受けようとし、教科等や委員会などの話し合いも活発になる）
- 全国学テの国語B等のポイントが上がる。
（全国や県等の成績や学習状況調査の多くの項目で向上が見られる）
等々

「小中一貫の学級活動」に取り組んだことによる成果

黒磯北中学校の「生徒の変容・教師の関わりの推移」（文責—山崎、吉澤）

- 以前と比べて生徒主体の活動が定着してきた。
- 学級内で意見が分かれた時でも、自分のわがままを押し通そうとする生徒が減った。
- 相手の意見と折り合いを付けて結論を出すことができるようになった。
- 個人のわがままな言動が減り、問題行動が減少した。
- 話し合いによって自分たちの意見が生活に反映されることが増えたことで、自主的な活動が増え、生徒の規範意識が高まっている。
- 学級だけでなく、生徒会や専門員会、部活動においても円滑な話し合いを行うことができるようになってきて、活動の活性化に繋がっている。
- 中学校区で協力して話し合い活動の推進に取り組んでいることで、全教師が一貫した指導を行うことができるようになり、中1ギャップの解消になっている。
- 教科においても「〇〇です。理由は～です。」と根拠立てて自分の考えを発言することが身に付いてきた。
- 数学科での3人組（4人組）の授業の話し合い（学び合い）にも、積極的に取り組むようになり、学力向上に結びついている。

等々

やき先生の学校童話集

児童向け
読み物

令和2年10月 初版第1刷発行

(できたてです)

この本は「学級会物語」です。

第1話（1年生のお話）金魚のおうち

第2話（1・2年生のお話）サミーさんがやってきて

第3話（3年生のお話）お年よりの人たちとの交流

第4話（4年生のお話）手作り紙芝居の発表会

第5話（5年生のお話）最高のオリンピックをしよう

第6話（5・6年生のお話）だるま学級物語

— 学級会や学級経営の工夫が、盛りだくさん！

●定価：本体 2,000 円＋税

（2冊以上は本体2割引。消費税と送料は負担を。）



※宮川八岐（みやかわやき）のホームページを活用してください。